

源氏と平氏の戦い

みなもとのよしな か

源義仲

木曾（3）で兵をあげ，北陸地方を平定して京都（4）に入った。平氏を京都から追い出し，都を占領した。

みなもとのよしつ ね

源義経

平泉（1）を出て京都に上り，都で乱暴をはたらく源義仲をうった。勢力をもり返した平氏を，一の谷（5），屋島（6）追いつめ，壇ノ浦（7）でほろぼした。

みなもとのよりと も

源頼朝

本きよ地の鎌倉（2）から動かずに，東国を固め，今後，武士をどうまとめていくかを考えていた。

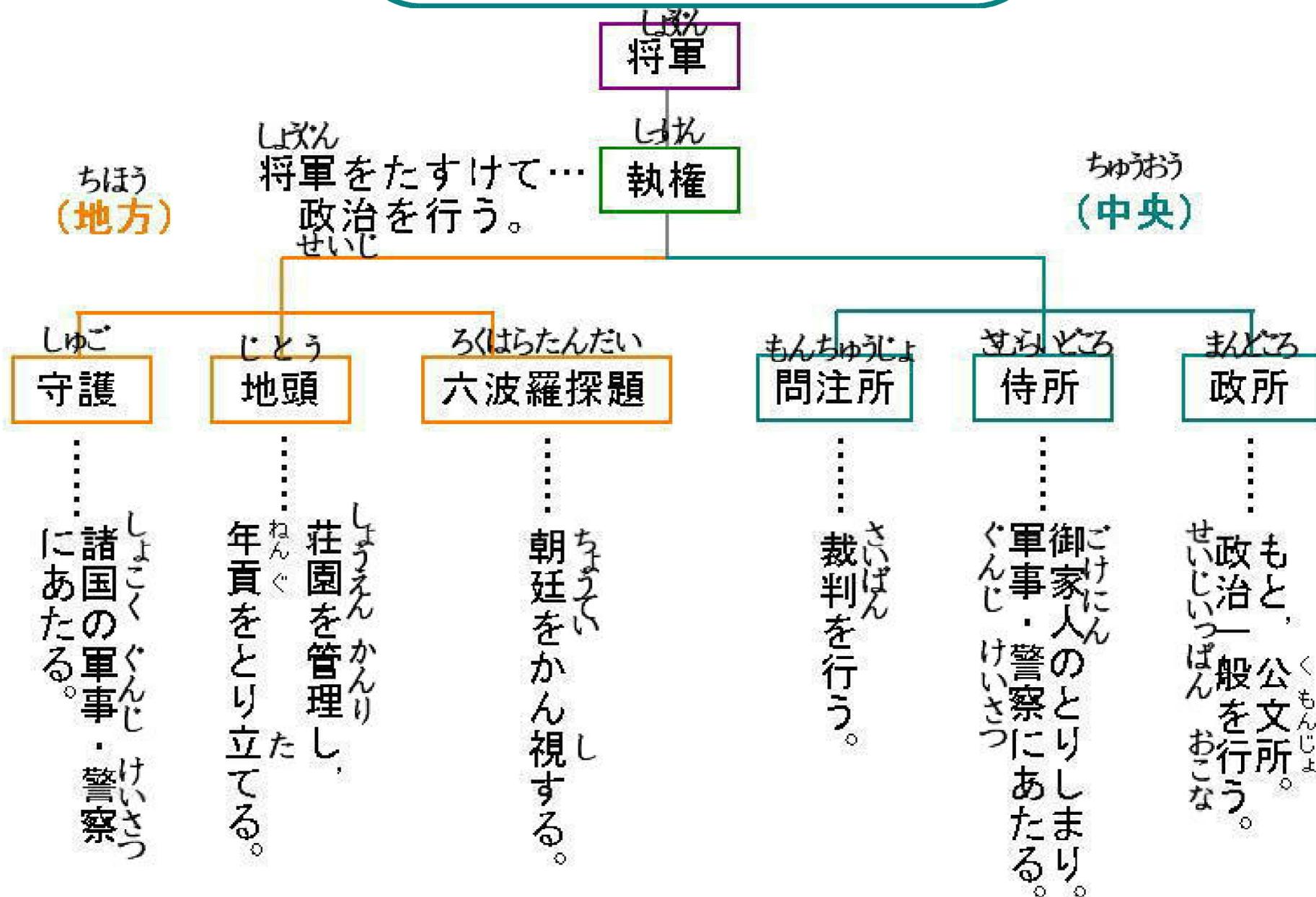


鎌倉時代のあらし

- 平氏をたおした源頼朝は、征夷大將軍となつて鎌倉に幕府を開いた。
- 將軍と御家人とよばれる家来とは、御恩と奉公の關係で結ばれた。
- 源氏が3代でほろびると、執権となつた北条氏が政治の実権をにぎつた。
- 2度にわたり元がせめてきたため、幕府の力がおとろえた。
- 浄土真宗などの新しい仏教がおこり、また、力強い文化がうまれた。



鎌倉幕府の仕組み (1)



鎌倉幕府の仕組み (2)

征夷大將軍

「征夷」とは、朝廷に従わない東北地方の人々を討ちに行くという意味。のちに、武士の中でいちばん上に立ち、武士たちをまとめていく者に対して、征夷大將軍の名がおくられることになった。

守護 (しゅご)

国ごとにおかれ、国内の御家人のかんとくや、軍事、警察の仕事にあたった。

朝廷によっておかれた国司は貴族だが、守護に任命されたのは有力な御家人だった。

御家人 = 武士

地頭 (じとう)

荘園ごとにおかれ、荘園の管理や年貢のとり立てを行う。

これも、御家人にあたえられた役職だった。

鎌倉時代の文化

<p>特色</p>	<p>武士の気重<small>はんえい</small>を反映し，宋の影<small>そう</small>響<small>えいきょう</small>を受けた，そば くで力強い文化</p>
<p>仏教</p>	<p>武士や民衆<small>みんしゅう</small>にもわかりやすい，新しい仏教が生 まれた。 ・浄土宗<small>じょうどしゅう</small>・・・法然 ・浄土真宗<small>じょうどしんしゅう</small>・・・親鸞<small>しんらん</small></p>
<p>建築</p>	<p>・東大寺……南大門<small>こんごう</small>〔金剛力士像がおかれる〕</p>
<p>文学</p>	<p>・軍記物……「平家物語」がびわ法師によって 語られる。 ・ずい筆<small>ほうじょうき</small>……「方丈記」・「徒然草<small>つれづれぐさ</small>」</p>



鎌倉時代の仏教

ア ^{あみだ} 阿弥陀^{しん} 仏を信じ、「^{なむ} 南無阿弥陀^{ねんぶつ} 仏」と念仏をととなえれば、
極楽^{ごくらく} に行くことができる。^{しゅうは} 宗派 …… ^{じょうどしゅう} 浄土宗

^{ほうねん} 開いた人 …… 法然

イ ^{ざぜん} 座禅を組むことにより、自分の力でさとりを開く。
宗派 …… ^{そうとう} 曹洞宗

^{どうげん} 開いた人 …… 道元

ウ ^{みょうほうれんげきょう} 「南無妙法蓮華經」の^{だいもく} 題目をととなえれば、^{すく} 救われる。
宗派 …… ^{にちれん} 日蓮宗 (^{ほっけ} 法華宗)

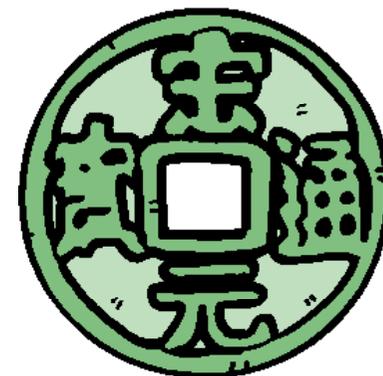
^{にちれん} 開いた人 …… 日蓮





鎌倉時代の産業

- ★ 牛や馬にすきを引かせて田を耕す方法が広まり，西日本では，米と麦の二毛作が始まって，農業生産が高まった。
- ★ 商業がさかんになり，寺社の門前などには定期市がたつようになった。
- ★ かじ屋などの職人が，注文に応じて，農具や武器を作って売るようになった。
- ★ 品物の売り買いは，主に中国から輸入されぜに銭によって行われた。





元寇の影響

★ ^{げんこう}元寇（元がせめてきたこと）は、^{かまくらぼくふ}鎌倉幕府にどんな^{えいきょう}影響をあたえたのか。

- 1274年 文永の役
- 1281年 ^{こうあん}弘安の役

^{ぼくふ}幕府や武士は多くの費用を使い、^{けいざいてき}経済的に苦しくなった。^{ごけにん}御家人はほうびの土地をもらえず、^{ぼくふ}幕府に不満をもった。

^{ちやうてい}朝廷に^{せいけん}政権をもどそうとした^{ごだいごてんのう}後醍醐天皇は、これを見て、^{ぼくふ}幕府をたおすチャンスだと考えた。

^{ぼくふ}幕府は^{だし}徳政令を出して、^{ごけにん}御家人の借金をなくそうとしたが、^{ごけにん}御家人の生活や楽にならなかった。

^{ぼくふ}幕府に対する^{ごけにん}御家人の不満は、ますます強まり、^{かまくらぼくふ}鎌倉幕府を支えていた^{おおん}御恩・^{ほうこう}奉公の関係がくずれた。